

暑さに、 戦力を 奪わせない。



概要



腕に装着したセンサーから「熱だまり」を計測。
休憩が必要なタイミングを狙ってアラート通知。

- 深部体温・皮膚温・心拍数をリアルタイムにグラフ化
- 熱だまりによる身体負荷を作業者ごとに色分け
- 現場単位ですべての作業員をモニタリング
- 計測データを蓄え外部出力に対応
- IPX7の防水性能で汗などの水滴に耐性あり

Heat Aid 3つの差別化ポイント

01

“休むべき瞬間”を
狙って通知

熱貯留と放熱状態から熱だまりを評価し、リスク上昇時にアラートを発報。

02

上腕装着で
より正確な計測

手首型と異なり、上腕装着で熱だまりを高精度に評価。

03

プロアスリート
採用のセンサー

プロスポーツの現場で磨かれた精度・耐久性を持つセンサーを採用。

その計測値、**正確**ですか？

	従来技術の課題	 Heat Aid
熱だまり評価	体温計測が不安定 手首は外気・発汗の影響で測定値が変動し、深部体温の推定が困難。	深部体温に近い値を安定計測 上腕で熱移動と運動負荷を連続計測し、熱だまり状態を正確に検知。
計測安定性	心拍計測が不安定 手首装着は動作・光散乱の影響を受けやすく、安定した脈波の取得が困難。	高精度・安定した心拍計測 上腕密着装着で光散乱・センサーずれを防止し、安定した心拍を取得。
リスク評価	単一指標では誤検知リスク 心拍数のみでは暑熱負荷を正確に評価できず、誤検知・見逃しが発生。	複合指標で高精度判定 熱移動と心拍を統合解析し、暑熱負荷を高精度に検出。
安全管理支援	危険の認識・対処が作業任せ 通信機能がなく、危険は作業者のみが把握。報告・作業再開の判断もすべて個人任せ。	検知から作業再開まで組織で対応 危険状態を管理者等の関係者へ即時通知し、熱だまりの解消を確認した上で作業再開を組織的に支援。

熱中症警戒アラートのたびに、**現場を止められますか？****111日**アラート発表日数
全運用期間183日中**3年連続 夏の平均気温が最高記録を更新**

2025年6～8月の平均気温はこれまでの記録を大幅に上回り、統計開始以来3年連続で過去最高を更新。

1,749回警戒アラート
延べ発表回数**警戒アラート発表 調査開始以来の最多を更新**

2025年の熱中症警戒アラート延べ発表回数は1,749回に達し、運用開始（令和3年）以来の最多を更新。令和3年比で+185%と急増。

出典：環境省熱中症予防情報サイト「資料1 今夏の振り返り」 ※令和7年4月23日～10月22日の集計

独自評価指標

Heat Strain Index (HSI) による「熱だまり」の評価

HSIとは、体内の**熱貯留状態**（heat storage）と体表を介した**放熱状態**（heat dissipation）の両方を同時に評価する指標です。身体の表面温度や心拍数のみで判断する従来技術とは異なり、**体内の熱バランスを総合評価**することで「熱だまり」を早期に検知し、的確なタイミングでアラートを発報します。

提供元

クルーズワークス株式会社

〒162-0822
東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン707TEL : 03-6783-3323
<https://www.crews-works.com/>

販売元